

毎週日曜発行  
2023 7/9

# こども新聞 週刊がほピヨンス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



## 地球のためにできること

### 「おもちゃ病院」開催



お気に入りのおもちゃが壊れたとき、どうしてやる？ 「遊べないなら捨てる？」と君、ちよっと待って。宮城県には「おもちゃのお医者さん」たちがいるんだ。直しながら使い続けること

きょうのテーマ

12 つくる責任  
つかう責任



# 症状から原因調べ「治療」

モコンを操作しても車が走らない。仙台市のボランティアグループ「おもちゃ病院チャチャチャ」には、毎月「患者」たちが運び込まれます。



は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の12番目「つくる責任 使う責任」につながるよ。

「電動ぬいぐるみの手足が動かなくなった」リ



ゲーム機を修理する倉田さん（左）。やすりやハンダごて、電池チェッカーなど道具を駆使（くし）します

類はさまざま。おもちゃドクターがカルテに書かれた症状から原因を調べ、部品の交換やクリーニングなどを行います。「その場で直らなければ次の病院開催まで『入院』です」と荒木さん。

5月のある日、泉区の男性（71）が持ち込んだのは約30年前のゲーム機。男性の息子が子どもの頃に遊んだものを孫に使ってもらおうとしたものの電源が入りません。



メンバーのおもちゃドクター倉田良明さん（75）が点検すると、乾電池の液漏れが原因と判明。内部のさびを落とし、乾電池を入れる部分のバネをハンダ付けすることで、再び遊べるようになりました。見守っていた周囲の人たちから自然と拍手が起きました。部員代をもらう以外は無報酬の活動です。直

ったおもちゃを見た時の子どもたちの笑顔が一番の診察料」（荒木さん）だそう。倉田さんも「最近構造が複雑なおもちゃが多く、いつも試行錯誤だが達成感がある」と声を弾ませます。

最近では中国など海外で作られたおもちゃが多く、部品が手に入りにくいそう。直らなかつたおもちゃを譲り受けて部品を再利用するなど工夫しているんだって。私たちが長く使うという意識を持って物を大切にしたいね。

メモ おもちゃ病院チャチャチャは大野田、金剛沢、八木山、中田の各児童館や松森市民センターなど仙台市内を中心に活動。開催日はチャチャチャのホームページを見てね。おもちゃドクターになりたい人も募集中。中学生以上でやる気があれば大歓迎だ。連絡先はチャチャチャ鎌田博明さん022(255)1570。

### 今週の注目ニュース

◇7月10日（月）ウルトラマンTV初登場  
1966年のこの日、特撮番組「ウルトラマン」の放送が始まり、後にシリーズ化されました。M78星雲からやって来たウルトラマンは、地球の平和を守るため怪獣たちと戦います。必殺技はスペシウム光線。

### きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる！ こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 防災と英語 いっぺんに学ぼう

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ